

NPO法人木の建築フォラム主催

木づかいオンラインサロン2025・2026 第4弾 第3回

日時12月9日火曜日 18時30分～20時30分 会場：zoom *下記より申し込みください。

タイトル：「壁量の変遷と新壁量計算の課題」

講 師：大橋好光（おおはしよしみつ） NPO法人木の建築フォラム理事長

■経歴概要

東京都市大学／名誉教授。1954年生まれ。

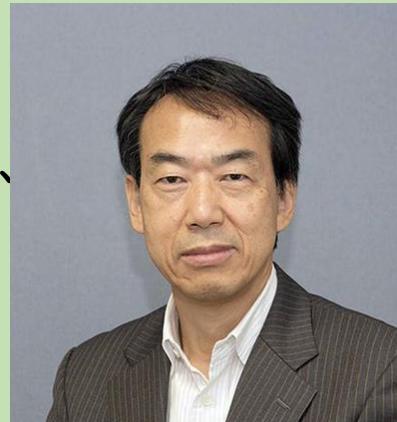
東京大学大学院博士課程修了。東京大学助手、教授を経て東京都市大学教授。

2020年3月定年退職・名誉教授。

現在、（一社）木を活かす建築推進協議会代表理事、NPO木の建築フォラム理事長、

（公財）日本住宅・木材技術センター評議員

などを兼任。専門は木質構造。特に、軸組構法の耐震設計、耐震診断、集成材接合部の解析など。（一財）日本建築防災協会の「木造住宅の耐震診断と補強方法」などの編集に関わる。著書に「設計実務に使える木造住宅の許容応力度計算」（共著、日経BP社発行）、「ひとりで学べる木造の壁量設計演習帳」（共著、日本建築センター発行）、など。



■講演概要

木造住宅の構造に関する規定が改正され、2025年4月に施行された。大きな改正は、概ね20年毎に行われてきたが、今回は2000年以来、約25年ぶりの大改正ということになる。中でも「壁量設計」は、算定方法の考え方が整理され、その結果、壁量は従来の1.3から1.4倍に増えることになった。しかし、その方法は、ようやく他構造と同じ扱いになっただけで、他構造より、強い耐力を求めているわけではない。

なぜ、こうした扱いになるまでに75年もかかったのか、壁量設計の歴史から解説する。

会 費：フォラム会員・学生は無料、一般1,000円（12回通し10,000円） サロンオーナー：杉本洋文・速水享

事務局：NPO木の建築フォラム事務局 担当細田洋子 〒112-0004東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル4階

TEL : 03-5840-6405 FAX : 03-5840-6406 E-mail : office@forum.or.jp <http://www.forum.or.jp/>